

P-19

精神科コンサルテーション・リエゾン・サービス (CLS) における診療の現状と今後の展望について

○椿 雅志、八巻 蔵人、富澤 治、
平林 直次、飯森 眞喜雄、清水 宗夫

東京医科大学 精神医学教室

近年総合病院治療における精神的ケアの重要性はますます増大しつつある。当教室においても従来より行なってきた病院内他科からの対診依頼、他科との兼科業務に関して専門に行うコンサルテーション・リエゾン・サービス (以下CLSと略) 部門を平成6年度より新たに創設し診療に当たっている。今回我々は平成6年度1年間におけるCLSの診療結果をまとめたためこの結果を提示し、CLSの現在の活動状況を検討し、さらには今後の展望について考察を加えたい。

今回調査した期間は平成6年4月1日から平成7年3月31日までの1年間であり、この期間に当院各科に入院し、何らかの精神科の問題によって当科CLS兼科診療 (ミット) となった患者は173名、男性92名、女性81名、平均年齢 51.95 ± 19.51 (mean \pm std) 歳であった。依頼時精神科状態像は、抑うつ状態29%、せん妄状態29%、不安状態12%などであった。確定診断としては、せん妄27.3%、抑うつを伴う適応障害11.5%、精神分裂病12.0%、痴呆8.7%などであった。

以上の結果を検討してみると各科からの依頼理由としては、「病棟管理上困難をきたす精神症状が出現した場合」が多く、「患者の身体疾患に伴う不安や、抑うつが存在した場合」でも身体科治療に支障をきたさない限り依頼は消極的になる傾向があるように思われた。これは①患者や家族、医療スタッフの“精神科受診”に対する心理的抵抗、②主科身体治療の方針と当科的治療を同時に満たすうえでの困難さ、などの要因が考えられた。

このような結果から今後身体各科と精神科とが大学病院診療において患者に最適な治療を提供するためには、主科の身体疾患に対する治療方針を的確に把握した上で、患者との良好な治療的関係を持ちながら当科的治療を行うことが重要であると思われた。

P-20

Fast FLAIR of Brain MRI

(Dep. of RADIOLOGY)

○Syuji Sugiki, D. KAKIZAKI, A. SAKURADA,
M. KAWANISHI, H. SHINDO, K. SAITHO,
K. SHIMOYAMADA, N. ITOH, I. ISHII, S. INOUE,
T. SUZUKI, F. KOTAKE, K. ABE

T1-weighted images, Proton density-weighted images and T2-weighted images have been used for MRI diagnosis of neurological disorders. Although T2-weighted images are thought to be most useful for detection of abnormal lesions, there are also disadvantages in them such as; (1) high signal intensity of CSF will make it difficult to detect lesions in the deep white matter around the ventricles and the cerebral cortex adjacent to the fluid; (2) brain tumor and edematous changes in the surrounding tissue will produce similar intensity which disturb the understanding of the extent of tumor invasion. To solve these problems, we performed Fast FLAIR Sequences of MRI, that is a modified Fast IR Sequences of MRI. In addition, dual contrast FLAIR Sequences was conducted in some cases to produce images like T2-weighted one's. Various neurological disorders were studied using this Sequences. The usefulness and some problems are reported in this paper.